



学校だより

清流

立山町立立山中央小学校

令和6年3月



1年間 応援ありがとうございました

6年生が卒業を迎えるまで、残り約1週間となりました。本年度もあ товすかです。5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学校は以前のような活気ある教育活動を行おうと取り組んできました。愛育会役員の方々をはじめ保護者の皆様、地域の皆様のおかげで、子供たちは人や物、事等と様々な形で関わることができ、成長のための貴重な経験を積むことができました。学校を支える多くの方々の応援を改めて有難く感じた貴重な一年間でした。皆様のご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。来年度も中央っ子への応援、よろしくお願いします。

中央っ子 躍進の3月

3月に入り「卒業を祝う会」や「児童会・なかよし班・集団登校班等」の引継ぎ、「卒業式の練習」等が行われています。一つ一つの活動を通して、少しずつ6年生から下級生に学校のバトンが渡されています。これらの活動に取り組む中央っ子の中で、今一際目を引いているのが3階の子供たちの姿です。



6年生は今、小学校生活の集大成である「卒業式」に向け、残された日々を過ごしています。学習発表会と卒業を祝う会で披露した“情熱大陸”の演奏は、憧れの上級生の姿、目指すべき中央っ子の姿を下級生に示してくれました。卒業式での立ち振る舞い、歌、言葉等の練習に取り組む彼らの姿を見ていると、自分の成長した姿を見せ、下級生によき手本を示すことで、保護者や地域の方々、下級生や教職員に感謝の気持ちを届けようと、その子なりに努力していることが伝わってきます。彼らの真っすぐな姿は、本当に頼もしく、それを見ていただけることを嬉しく思います。

最近の5年生の言動からは、彼らがこれから最上級生として、学校を受け継いでいこうという、強い意志を感じます。卒業を祝う会では、運営の中心となる子供も、サポート役を担う子供も、共に「6年生のために会を成功させよう」「下級生を引っ張っていこう」と、周りをよく見て、互いに声を掛け合い、積極的に動く、一生懸命な彼らの姿にとっても感心しました。新しい委員会の常時活動の様子からは、慣れないながらも、しっかりやっ ていこうという気持ちを感じて嬉しくなります。卒業式に向けた様々な準備に、張り切って取り組む姿は、最上級生になるのだという自覚を感じます。新6年生が来年度から、どんな一年間を過ごし、新しい立山中央小学校の一年間を創ってくれるのか、期待が大きく膨らみます。

3月は、中央っ子がこれまでの学びを生かし、一人一人が大きく躍進するチャンスを手にする重要な月です。102名の6年生は、もうすぐ立山中央小学校を卒業していきます。在校生は、卒業生が示す憧れの姿から学び、目指すべき目標を手に入れ、進級します。子供たちが、成長した自分を改めて確認し、次の一年への期待をもつことができるよう、教職員一同、心を引き締め指導に当たります。保護者、地域の皆様、中央っ子への応援をよろしくお願いいたします。

学校は、4月からの新しい一年に向かって動き始めています。